

神秘十字教会

2015年 総括 9/30 創造日

第四証 【神秘の時代の今】

牧師（神師）・伝道師 天池治彦

私が牧師・伝道師となりこの世の神秘の世界において早や4年が経った。この4年間でも日々日常に変化は起こり、我々は今を神様と共に生きている。

そしてこの国も歴史的な記録が2015年の9月に起きた。それは、今の与党であり内閣が国民の民意を無視して法案を可決成立したことにある。

この日本国中の若者から子供・老若男女に至る人々が声を上げて来た。つまり、戦争反対や、安保法案反対の意志を示し始め、それは全国に飛び火し、うねりとなり今も各地で行われている。

だが、安倍晋三政権や自民党と公明党はその国民の意志や民意を心から受け取らず、耳を聞こうとしない。何故なら、強行採決により可決し、可決後に国民に対して徐々に説明していく方針を示し、更には安保法案が可決した時点で、防衛省がその法案の行動に移す計画を今年から行う予定である。

今、前の解散総選挙を振りかえると、その選挙の時には、安保法案や集団的自衛権・他にも10の法案を一束にして日本を変えろと言う事は一切選挙で発言をしていなかった。ただ、アベノミクスで景気を良くする事や、「この道しかない」の選挙ポスターだけだったので国民は騙されたわけである。

そして徐々にではあるが、安保法案可決に向けて安倍内閣や与党は動き出した。秘密保護法もその一つであると考ええる。

安保法案以外で重要な協定も私が天命により与えられた月日に行おうとしている。その月日は9月30日から始まり、最終会合に成る予定。それは「TPP」である。

TPPについては、前から私は反対している。全てを自由とすることは、経済格差や貧富の差が当然発生し、今の生活が極端に日本国の中で分かれてしまうからである。

地域社会の農業も壊滅的なダメージを受けるし、各伝統文化もその食から支えているのであるがその行事も狂ってくるだろう。

医療も高額から安いの中から選択肢が出来る事は、平等に病院に通えなくなる可能性も大であり、今の国民健康保険制度がなくなる事は何を意味するかは記述しなくても分かる。

国や国民を守るには規制が絶対に必要である。規制があって自由があるのだ。

その規制を撤廃する事は利益至上主義経済が支配し、経済も生活水準も平等社会ではなくなり、自由の名がつく、嘘つき民主主義の時代が始まるのである。

今、私達は普通に生活をし、仕事をして働き、いつの間にか税金を納めて小さき家庭から地域・社会へと貢献をし、国に貢献して社会全体に繋がっている。

だから今の時代を普通に生きる事に加えて、政治にもちゃんと目を通し、各個人や家族で考えなければいけないだろう。

この9月の今、この国が変化し始めている。それをどうするかは次の選挙で投票する事が国民の民意を表わすことが出来、道を決めて歩む事である。

9月は神様により、我々国民の意識が政治と平和へ目を見開かせ、気づかせたくれたと考えている。それがこの国が平和への証の民族となって人類を導くのだろう。

我が師又吉イエス先生の「世界経済共同体主義」に一步一步、歩んでいると考える。それは、未来の人類の姿である。

この9月は歴史に残る事件が起き、今を生きている事の大切さを気づかされ、教えて下さっている主に感謝をし、祈りを捧げ、行動して行きたい。

そしてこの神秘の世を未来に向かって歩いて行けば、神様による導きが与えられ、試練を乗り越える事が出来るのである。未来は明るいし、大きく澄み渡る秋の空の青空礼拝で成長をして祈りたい。

この9月30日に、安倍総理は国連総会にて一般討論演説を行った。日本が世界に貢献し、常任理事国になる事を宣言したと言えるだろう。

世界に貢献する事は、安保法案の成立も加わる事となる。それを前提としての常任理事国を目指すとは国民の民意を無視した貢献を国連総会で発表したのである。

この発言は歴史に残り、この日本国は、常任理事国を目指す宣言は後で禍根を残し、間違いと共に、この日本国は平和ではなくなることを意味する宣言となるのである。

9月30日は、私が神様によって与えられた天命の誕生日であり、その宿命と共に証をしなければならない定めを命じられた。

未来の宣言は、人類の共通の共感による「食」を第一とした平和主義による共同体の発言となるであろう。

それは、今わが師である又吉イエス先生が伝道している「世界経済共同体主義」が人類を導く証なのである。

神秘のこの世は常に時代と共に動いている。今を生きている事は神様から与えられた「生きる」と云う定めであり、生命と人類共通の「共同体」であるのだ。

この神秘の世をこれからも祈り行動し、共に命を輝かせて御国に戻るまで人生とこの世を共に生きて試練を乗り越えて行きましょう。

アーメン